

「健康食品」について検討することとなった経緯

東京都食品安全情報評価委員会(以下「評価委員会」)においては、これまで食品の安全性に関する個別のリスク情報について検討を行ってきたが、「健康食品」については、個別の情報に対応していくだけでは問題は解決しないという現状が浮かび上がり、平成16年8月26日の評価委員会において、「健康食品」の情報を総合的に評価検討を行うことが必要と判断された。

専門委員会で検討の対象とする「健康食品」の範囲

健康の保持増進に資する食品として販売・利用される食品(普通の食品の形態をしているものや、カプセル、タブレット状のもの等で、保健機能食品を含む)のうち、消費者が自らの判断により利用するもの。

「健康食品」に関して問題となっている現状

都民の「健康食品」への誤認
理解不足

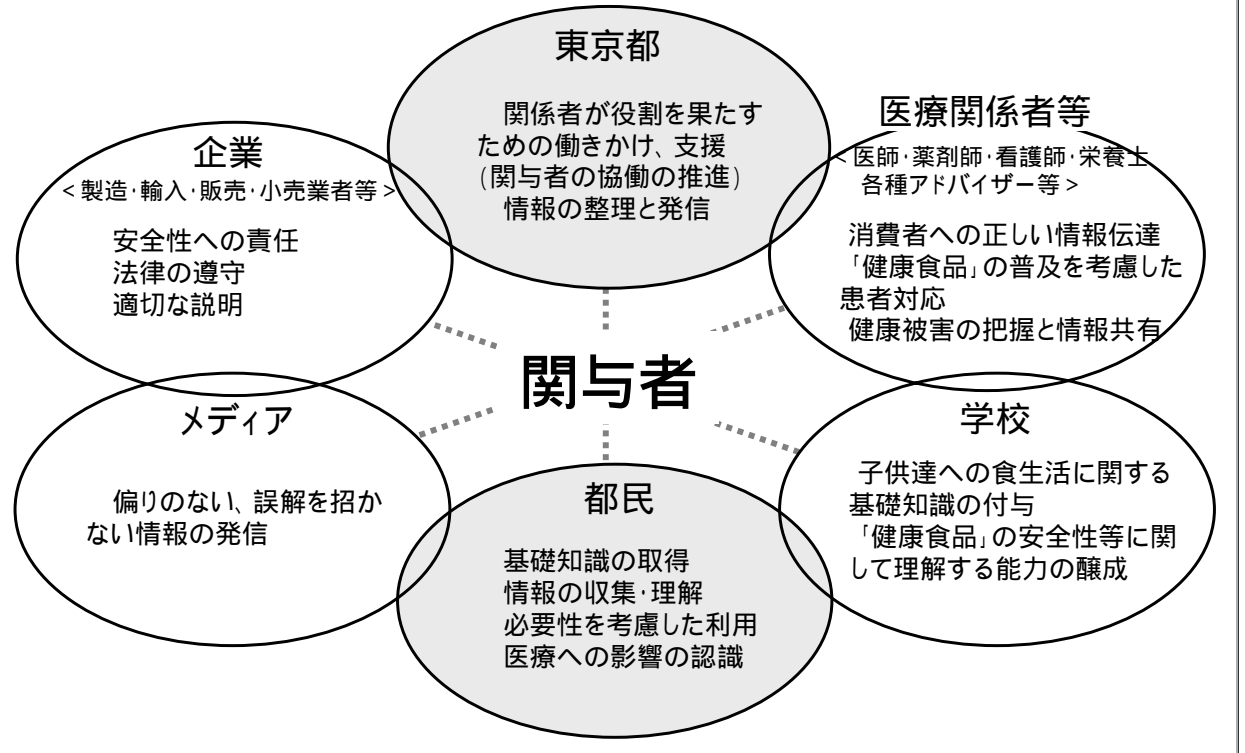
健康被害の発生

科学的に不確かな情報の氾濫と
適切な情報の不足及び伝達不足

検討の目的

都民が「健康食品」を安全に利用できる環境を整備するために、「健康食品」に関わるすべての者(関与者)は、右図に示すような役割と責任を果たさなければならない。

本委員会は、都がそれぞれの関与者と協働し、施策として取り組むべき具体的な事項について検討する。



目的達成のための目標

都民の認識の向上

正しい理解の促進

- 1 リスクコミュニケーションの実施方法
- 2 「健康食品」に関する都民へのメッセージの検討
・「健康食品」の役割や安全性に対する理解の推進
・「健康食品」の利用方法について

製品やその使用上の安全確保

健康被害情報のより確実な把握と情報の共有

- 1 健康被害情報を共有する仕組の必要性
- 2 医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割

「健康食品」の安全の向上と、消費者の安全な利用のサポート

- 1 「健康食品」取扱い事業者へのアドバイスの検討
- 2 医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割

適切な情報の提供

情報の適正化

- 1 企業やメディア等の健康情報発信者に求める責任の明確化

情報伝達チャンネルの構築

- 1 都民に正しい情報を伝えるために、医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割

適切な情報選択(製品選択)のサポート

- 1 「健康食品」の利用に関するアドバイスの作成
有用な情報源の活用方法
情報を元に利用価値を判断する目安 など

検討事項

議事④

議事③

議事②

都への報告(提言)